

## 事務局からのお知らせ

### 1. 学会誌 Vol.11 投稿者募集

学会誌『電子キーボード音楽研究』Vol.11 への投稿者を募集しています。実践記録やレポートなど、幅広い意見を載せていきます。5月の連休後に締切りとしますので、多くの方々からの投稿をお待ちしています。詳細はホームページの学会投稿規程をご参照の上、事務局までお問い合わせください。

投稿の種別および字数：電子キーボードを用いた音楽の演奏、創作、教育等に関する

研究論文（20,000字以内）

研究報告（10,000字以内）

会員の活動報告（5,000字以内）、演奏会の批評や書評（2,000字以内）、講習会報告

会の内外の活動や情報についてのレポート

投稿者：原則として会員とする。ただし以来原稿執筆者はこの限りでない。

\*ご執筆前に事務局に書式見本(テンプレート)をご請求下さい。

### 2. ホームページの会員情報

学会のホームページ<http://jsekm.jp/>では facebook と同時に会員情報を掲載しています。この会員情報は2006年から継続されているもので、会員のキャリア記録としても貴重なものです。コンサートの他、出版、セミナーなど積極的に情報をお寄せください。掲載希望原稿は、現在の会員上方をご参考にして頂ければ事務局で体裁を整えて掲載致します。

【編集後記にかえて】

本学会を設立準備会が立ち上がった当初から縁の下の力持ちで支えて下さっていた生頼俊秀氏が2015年8月に急逝されました。ここに11年間共に事務局を務めて来られた阿方俊事務局長の惜別の辞をもって、10号目を迎えた本誌の編集後記とかえさせて頂き、皆様とともに生頼氏のご冥福を心からお祈りしたいと思います。

(森松慶子)

惜別

学会事務局 生頼 俊秀さんを悼む



日本電子キーボード音楽学会  
事務局長 阿方 俊

8月21日夜、携帯電話に生頼さんから2度の着信記録があり、こちらから電話をしたところ、「実は癌が胃から前立腺、肺、骨へと転移している。11月の大会は大丈夫だが、将来のために若い人に手伝って欲しい」とのこと。夏休み前に会った時にはそのような様子にはまったく見えず、今回の電話の受け応えも普段と変わらない声だったので、「事務局の若返りはよいとして、冗談はよせよ」といったが、その4日後に生頼さんは急逝した。あれから2ヶ月余り経ったが今でも信じることができない。

振り返ると、生頼さんには11年前の日本電子キーボード音楽学会設立時から事務局の実務関係を一手に引き受けていただいた。以前、彼はヤマハ音楽振興会浜松支部や第二の故郷と言っていた台湾でヤマハ音楽教室の責任者として膨大な仕事をこなしていたので、学会の仕事が加わったからといって負担になったような素振りはなく、マイペースで淡々と業務をこなしていた。事務局内の私との業務分担を政府に例えると、内閣府に当たる幹事会のもと、彼が総務省や財務省、私が文科省や外務省的な仕事の分担に置き換えることができる。従って生頼さんが急逝されたことは、財務管理や総務の仕事を担当する人が、突然不在になったことを意味し、国民生活が成り立たないことに匹敵する事態に陥っているといえる。しかし、ご葬儀後に奥様の美砂恵夫人から送られてきた事務局の関係資料に一枚のCDがあり、このCDに学会設立時からの会員動向、財務情況が克明に記録されていた。本日の総会は、これを土台に成り立っているといっても過言ではない。内容は大変よく整理されたものであり、本学会の今後の拠りどころとなるものである。

本年、日本電子キーボード音楽学会も第11回を迎えることになったが、設立からの10年間、彼のご尽力と貢献はことばに表し尽くせない。只々感謝の限りである。

現在の学会運営の情況は、双発の飛行機の片方のエンジンが止まった状態に等しいが、生頼さんが残して下さったCDをマニュアルとして、一時的に止まったエンジンを一日も早く復調させ順調な飛行に戻りたい。

私達の活動を天国から見守っていただきたいものである。

編集委員：森松慶子 金銅英二 阿方 俊 査読：吉田泰輔 和智正忠

電子キーボード音楽研究 Vol.10

発行日 2015年11月15日

編集発行人 日本電子キーボード音楽学会  
昭和音楽大学内

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-11-1

Tel:044-953-1121 Fax:044-953-1311

E-mail jeksm@view.ocn.ne.jp

URL <http://jsek.m.jp/>

発行所 イゲタ印刷株式会社

〒270-1168 千葉県我孫子市根戸 1216

Tel.027-185-0471

